

WING VALLEY

WING

ニュース

協同組合ウイングバレイ

No.98

2019年新年特集号

発行所

総社市久代1408-6
協同組合ウイングバレイ

発行責任者

政 宗 克 也

ホームページ

http://www.wingvalley.or.jp/
総社市総社1丁目10番24号
柳本印刷株式会社



明けましておめでと
うございます。皆様にとりまして今年がより
良き年になりますよう
にお祈り申し上げます
昨年を振り返ります
と当では7月西日本
豪雨により岡山県に限
らず広島県・愛媛県な
ど多くの被害があり、
亡くなられた方も出ま
した。(2018年9月
6日12時現在の朝日新
聞集計によると死者227
人、行方不明者16人)
以降、政府の激甚災害指
定、グループ補助金等の支
援策が講じられ、復興の足
取りは感じられるものと
今もみなし仮設・仮設住宅
生活の方は多く、被災者
にとって「乗り越える壁」は
依然として高いものです
。とは言え、生きていた
めには稼がなければなら
ません。稼ぐためには被災し
ていない企業・人との競争
に勝ち残らなければならま
せん。この危機感こそは、
被災した者でないといから
ない貴重な経験だと考えて
前を向いて行っていただ
きたいものです
。昨年は、女性活躍と言
うキーワードに代表され
るように小生の周辺でも多
くの女性幹部が注目され
ました。昨年誕生したル
ノー・日産・三菱の購買を
統括するAPOの代
表にヴェロニク・サ
ラポボ氏、岡山県立
大学・次期理事長兼
学長に沖陽子氏、岡
山労働局労働基準部
長に木下麻子氏、岡
山県ものづくり女性
中央会(岡山県中小
企業団体中央会がサ
ポートする組織)会
長に享栄エジンニ
アリング・本多美奈子
社長がそれぞれ誕生
しました。それぞれ
その道では経験豊富
ですから力むことな
く自然体で取り組ん
でおられ、小生にも
特段の違和感はない
ません。
三菱自動車水島製
作所も過去の課題解
決、一昨年末のRV
R生産移管が実現
し、それ以降、三菱
自動車全体でもイン

年頭挨拶

協同組合ウイングバレイ

理事長

書田 眞 三

年頭挨拶

協同組合ウイングバレイ

理事長

書田 眞 三

ドネシアでの新車エク
スパンダーのヒット、エク
ス・クロスのカー・オブ・
ザ・イヤー受賞と明るい話
題が続く、反転攻勢と言
えるのではないですか
。とは言え、常に競争力
は問われますが、以前の通
りに全社が受注できるの
かと言った不安は残ります
。今年は正念場と言っ
ても過言ではないと思
います。また水島地区を代表する
部品メーカーであった難波
プレスが乗用車シート事業
をニッパツに譲渡し、ニッ
パツ水島が立ち上がりまし
た。加えて、組合員企業で
難波プレス出資の三恵工業
がエンデバー・ユナイテ
ッド(輸出資による「㈱クレ
ファクト」)に変わりました
。加えてアステアは増資
し大企業の仲間入りをしま
した。
同様の変化は過去、ウイ
ングバレイに於いても「総
社工業の誕生(アステア)
の誕生、「曙ブレーキ山陽
製造」の誕生のように、各
社は生き残るために変化を
続けてきました。
社員を守り、正念場を乗
り越えるためには評価の価
値がある技術を有する会社
にとって「変化」は生き残
りの手段なのかも知れませ
ん。
昨年、地元選出の加藤勝
信衆院議員は、厚生労働大
臣から自民党総務会長に就
任し、総理総裁候補と言わ
れたとき「高みをめざす」
と言われました。我々もそ
れぞれが置かれた立場で高
みをめざしましょう。

年頭挨拶

三菱自動車工業株式会社

北尾 光 教

年頭挨拶

三菱自動車工業株式会社

北尾 光 教

年頭挨拶

三菱自動車工業株式会社

青 池 利 之

年頭挨拶

三菱自動車工業株式会社

青 池 利 之

年頭挨拶

三菱自動車工業株式会社

青 池 利 之

年頭挨拶

三菱自動車工業株式会社

青 池 利 之

年頭挨拶

三菱自動車工業株式会社

北尾 光 教

年頭挨拶

三菱自動車工業株式会社

北尾 光 教

年頭挨拶

三菱自動車工業株式会社

北尾 光 教

年頭挨拶

三菱自動車工業株式会社

北尾 光 教

2019年1月1日

もっと、ずっと、地球と共に。

(4)

エネルギーとともに

電力関連事業の取組み

エネルギーとともに

電力関連事業の取組み

【ウイングバレイ東】
6,600V
工場A
工場B
工場C
工場D
組合員企業の各工場 (18工場)
共同受電のフロー図
また、管理面でも体制等
の整備を進めました。
平成21(2009)年、
共同受電構内の電気事故防
止のため、組合員企業と新
しい管理体制を構築。電気
使用規約を改訂するととも
に、電気使用契約を新たに
策定し、締結しました。
平成23(2011)年、
Web通信システムを導入。
共同受電構内で電気事
故や停電が発生すると組合
員企業電気担当者へ自動通
報する仕組みで、情報共有
と復旧の迅速化を図りまし
た。
組合員企業の担当者とは、
隔月開催の「電気担当
者会議」の場で情報・意見
交換を行っています。
なお、ウイングバレイ西
では、電力会社と組合員企
業との間の個別受電となっ
ています。

1. 共同受電事業

昭和41(1966)年

の「ウイングバレイ東での
組合員企業一斉操業」に
先立ち操業を開始した先
発工場のために、昭和40

2. 自家発電事業

昭和62(1987)年

コスト削減をめざして、自家
発電導入にむけた検討を開
始しました。
途中、難航した時期もあ
りましたが、粘り強く活動
した結果、平成4(1992)
年自家発電設備が完成
し、本格的な運転をスター
トしました。
自家発電のメリットは、
電力会社の電気料金を、自
家発電の経費が下回ること
で生まれます。
開始後4年間は、発電経
費の大半を占める燃料(A
重油)価格が安値で推移し
たため、計画どおりのメ
リットを上げることができ
ました。

自家発電所 (当時の様子)

昭和54(1979)年、
組合員企業の受注量が拡
大。おからの第2次オイ
ルショックで、コスト増加
した大きなもので、コン
クリート工場、見学・検
討会を実施するなど、団地全
体の省エネ化を進めまし
た。
その活動・成果が評価さ
れ、平成6(1994)年、
通商産業省資源エネルギー
庁長官表彰を受けました。
その後、ISO14000
の認証を受ける組合員企
業が増えるに従い、省エネ
活動は各社が固有に取組む
課題との判断から、平成
16(2004)年をもって
委員会の活動を中止しまし
た。
ウイングバレイの省エネ
は、組合員企業において、
引続き推進されています。

3. 省エネルギー事業

昭和54(1979)年、
組合員企業の受注量が拡
大。おからの第2次オイ
ルショックで、コスト増加
した大きなもので、コン
クリート工場、見学・検
討会を実施するなど、団地全
体の省エネ化を進めまし
た。
その活動・成果が評価さ
れ、平成6(1994)年、
通商産業省資源エネルギー
庁長官表彰を受けました。
その後、ISO14000
の認証を受ける組合員企
業が増えるに従い、省エネ
活動は各社が固有に取組む
課題との判断から、平成
16(2004)年をもって
委員会の活動を中止しまし
た。
ウイングバレイの省エネ
は、組合員企業において、
引続き推進されています。

電力関連事業の推移

昭和40 [1965]

昭和54 [1979]

平成4 [1992]

平成16 [2004]

平成30 [2018]

共同受電事業

自家発電事業

省エネ推進委員会

資源エネルギー庁長官表彰

昭和54(1979)年、
組合員企業の受注量が拡
大。おからの第2次オイ
ルショックで、コスト増加
した大きなもので、コン
クリート工場、見学・検
討会を実施するなど、団地全
体の省エネ化を進めまし
た。
その活動・成果が評価さ
れ、平成6(1994)年、
通商産業省資源エネルギー
庁長官表彰を受けました。
その後、ISO14000
の認証を受ける組合員企
業が増えるに従い、省エネ
活動は各社が固有に取組む
課題との判断から、平成
16(2004)年をもって
委員会の活動を中止しまし
た。
ウイングバレイの省エネ
は、組合員企業において、
引続き推進されています。

資源エネルギー庁長官表彰

昭和54(1979)年、
組合員企業の受注量が拡
大。おからの第2次オイ
ルショックで、コスト増加
した大きなもので、コン
クリート工場、見学・検
討会を実施するなど、団地全
体の省エネ化を進めまし
た。
その活動・成果が評価さ
れ、平成6(1994)年、
通商産業省資源エネルギー
庁長官表彰を受けました。
その後、ISO14000
の認証を受ける組合員企
業が増えるに従い、省エネ
活動は各社が固有に取組む
課題との判断から、平成
16(2004)年をもって
委員会の活動を中止しまし
た。
ウイングバレイの省エネ
は、組合員企業において、
引続き推進されています。

電力関連事業の推移

昭和40 [1965]

昭和54 [1979]

平成4 [1992]

平成16 [2004]

平成30 [2018]

共同受電事業

自家発電事業

省エネ推進委員会

資源エネルギー庁長官表彰

昭和54(1979)年、
組合員企業の受注量が拡
大。おからの第2次オイ
ルショックで、コスト増加
した大きなもので、コン
クリート工場、見学・検
討会を実施するなど、団地全
体の省エネ化を進めまし
た。
その活動・成果が評価さ
れ、平成6(1994)年、
通商産業省資源エネルギー
庁長官表彰を受けました。
その後、ISO14000
の認証を受ける組合員企
業が増えるに従い、省エネ
活動は各社が固有に取組む
課題との判断から、平成
16(2004)年をもって
委員会の活動を中止しまし
た。
ウイングバレイの省エネ
は、組合員企業において、
引続き推進されています。

資源エネルギー庁長官表彰

昭和54(1979)年、
組合員企業の受注量が拡
大。おからの第2次オイ
ルショックで、コスト増加
した大きなもので、コン
クリート工場、見学・検
討会を実施するなど、団地全
体の省エネ化を進めまし
た。
その活動・成果が評価さ
れ、平成6(1994)年、
通商産業省資源エネルギー
庁長官表彰を受けました。
その後、ISO14000
の認証を受ける組合員企
業が増えるに従い、省エネ
活動は各社が固有に取組む
課題との判断から、平成
16(2004)年をもって
委員会の活動を中止しまし
た。
ウイングバレイの省エネ
は、組合員企業において、
引続き推進されています。

資源エネルギー庁長官表彰

昭和54(1979)年、
組合員企業の受注量が拡
大。おからの第2次オイ
ルショックで、コスト増加
した大きなもので、コン
クリート工場、見学・検
討会を実施するなど、団地全
体の省エネ化を進めまし
た。
その活動・成果が評価さ
れ、平成6(1994)年、
通商産業省資源エネルギー
庁長官表彰を受けました。
その後、ISO14000
の認証を受ける組合員企
業が増えるに従い、省エネ
活動は各社が固有に取組む
課題との判断から、平成
16(2004)年をもって
委員会の活動を中止しまし
た。
ウイングバレイの省エネ
は、組合員企業において、
引続き推進されています。

資源エネルギー庁長官表彰

昭和54(1979)年、
組合員企業の受注量が拡
大。おからの第2次オイ
ルショックで、コスト増加
した大きなもので、コン
クリート工場、見学・検
討会を実施するなど、団地全
体の省エネ化を進めまし
た。
その活動・成果が評価さ
れ、平成6(1994)年、
通商産業省資源エネルギー
庁長官表彰を受けました。
その後、ISO14000
の認証を受ける組合員企
業が増えるに従い、省エネ
活動は各社が固有に取組む
課題との判断から、平成
16(2004)年をもって
委員会の活動を中止しまし
た。
ウイングバレイの省エネ
は、組合員企業において、
引続き推進されています。

資源エネルギー庁長官表彰

昭和54(1979)年、
組合員企業の受注量が拡
大。おからの第2次オイ
ルショックで、コスト増加
した大きなもので、コン
クリート工場、見学・検
討会を実施するなど、団地全
体の省エネ化を進めまし
た。
その活動・成果が評価さ
れ、平成6(1994)年、
通商産業省資源エネルギー
庁長官表彰を受けました。
その後、ISO14000
の認証を受ける組合員企
業が増えるに従い、省エネ
活動は各社が固有に取組む
課題との判断から、平成
16(2004)年をもって
委員会の活動を中止しまし
た。
ウイングバレイの省エネ
は、組合員企業において、
引続き推進されています。

資源エネルギー庁長官表彰

昭和54(1979)年、
組合員企業の受注量が拡
大。おからの第2次オイ
ルショックで、コスト増加
した大きなもので、コン
クリート工場、見学・検
討会を実施するなど、団地全
体の省エネ化を進めまし
た。
その活動・成果が評価さ
れ、平成6(1994)年、
通商産業省資源エネルギー
庁長官表彰を受けました。
その後、ISO14000
の認証を受ける組合員企
業が増えるに従い、省エネ
活動は各社が固有に取組む
課題との判断から、平成
16(2004)年をもって
委員会の活動を中止しまし
た。
ウイングバレイの省エネ
は、組合員企業において、
引続き推進されています。

資源エネルギー庁長官表彰

昭和54(1979)年、
組合員企業の受注量が拡
大。おからの第2次オイ
ルショックで、コスト増加
した大きなもので、コン
クリート工場、見学・検
討会を実施するなど、団地全
体の省エネ化を進めまし
た。
その活動・成果が評価さ
れ、平成6(1994)年、
通商産業省資源エネルギー
庁長官表彰を受けました。
その後、ISO14000
の認証を受ける組合員企
業が増えるに従い、省エネ
活動は各社が固有に取組む
課題との判断から、平成
16(2004)年をもって
委員会の活動を中止しまし
た。
ウイングバレイの省エネ
は、組合員企業において、
引続き推進されています。

資源エネルギー庁長官表彰

昭和54(1979)年、
組合員企業の受注量が拡
大。おからの第2次オイ
ルショックで、コスト増加
した大きなもので、コン
クリート工場、見学・検
討会を実施するなど、団地全
体の省エネ化を進めまし
た。
その活動・成果が評価さ
れ、平成6(1994)年、
通商産業省資源エネルギー
庁長官表彰を受けました。
その後、ISO14000
の認証を受ける組合員企
業が増えるに従い、省エネ
活動は各社が固有に取組む
課題との判断から、平成
16(2004)年をもって
委員会の活動を中止しまし
た。
ウイングバレイの省エネ
は、組合員企業において、
引続き推進されています。

